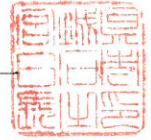


白生環第 832 号
令和3年 3月 1日

宮城県知事 村 井 嘉 浩 殿

白石市長 山 田 裕



(仮称) 福島北風力発電事業に係る計画段階環境方法書に対する意見について (提出)

令和3年1月29日付け環対第485号にて通知のありましたこのことについては、別紙のとおりです。

担当：白石市市民経済部生活環境課
環境対策係
TEL 0224-22-1314
FAX 0224-22-1316



(仮称) 福島北風力発電事業に係る計画段階環境方法書に対する意見

事業を実施するにあたり、下記の事項について、事業者に対して、ご確認及びご指導くださるようお願いいたします。

I 全般的事項

- 1 事業実施区域に近い区域でも、他事業者が計画する風力発電事業の事業実施想定区域があることから、累積的な環境影響が想定される環境影響評価項目については、他事業者が計画する事業と本事業との累積的な環境影響の調査、予測及び評価を行い、その結果、重大な影響が認められる場合には、本事業の位置、規模及び風力発電設備の配置等を含めて、事業計画を再検討すること。
- 2 環境影響評価を行う過程において、項目及び選定等に係る事項に新たな事情が生じた場合は、必要に応じて選定した項目及び手法等を見直すとともに、追加的に調査、予測及び評価を行うなど、適切に対応すること。
- 3 次の個別事項について、環境影響を回避又は十分に低減する方法を検討すること。

II 個別事項

(1) 騒音及び低周波音

騒音及び低周波音に関する対策については、風車からの距離や環境省が定める「風力発電施設から発生する騒音等測定マニュアル」等をもって一概に判断するのではなく、必要に応じて適切な措置を講じること。

(2) 景観

事業実施区域に近接する萬蔵稲荷神社は、参道から100基余りの鳥居が続く神社で、近年では縁結びのパワースポットとしても人気でもあり、白石市の知名度向上、観光客の増加等を図っているところである。

このことから、萬蔵稲荷神社にかかる眺望景観への影響について調査、予測及び評価するとともに、風力発電機が存在により、萬蔵稲荷神社の神秘的な雰囲気が増えなくなることを防ぐこと。

また、同様にその他の主要な眺望景観について調査、予測及び評価するとともに、主要な眺望景観への影響を回避又は十分に低減すること。

(3) 人と自然との触れ合いの活動の場

計画されている発電機は高さ150mを超す大型構造物となるため、遠方からの視認性も高くなるなど、自然景観に大きな影響を及ぼすことが予想される。

このことから、風力発電設備の存在による自然景観への影響や周辺の自然景観との調

和について調査、予測及び評価するとともに、風車の塗色、配置及び規模など、自然景観への影響を回避又は十分に低減する方法を検討するとともに、周辺の自然景観との調和を阻害しないようにすること。

(4) その他

- 1) 農業地域及び農用地区域に悪影響を及ぼすことがないようにすること。
- 2) 工事期間中は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、粉塵、騒音、震動、悪臭等の公害防止について、各種法令等に基づき適正に処理すること。
- 3) 工事の際には安全な施工を行うこと。また、工事期間中は、搬入・搬出に際し、交通安全関連法令を遵守し、必要と認める箇所に誘導員を配置するなど、交通事故防止対策・安全対策を行うこと。
- 4) 大規模災害も想定し、雨水対策、崩落等の防止措置、定期的な巡回の実施や異常箇所の早期発見の方法など、被害の拡大防止のための措置を検討すること。また、消防署からの意見を反映することができるよう努めるとともに、地元住民や地元消防団などに対する説明や区域内見学の実施など、関係者への理解に努める方法を検討すること。
- 5) 住民からの苦情等に対しては、誠意をもって迅速かつ適切な対応を行うこと。
- 6) 工事開始決定後は速やかに地域住民への周知を行うこと。